

アルファ・ワイン調査部

➤ 求職・求人情報のインターネットウェブサイトを運営

- ・ディップ(以下、同社)は、インターネットを利用した求人情報を提供するサービスや人材紹介サービスを行い、アルバイト、派遣、契約社員、正社員、あるいは医療関係者などの特定の労働形態や職種などに応じた専用のウェブサイトを運営している。同社の事業はメディア事業とエージェント事業に大別されている。
- ・メディア事業は求人広告事業であり、同社が運営するインターネット上の求人ウェブサイトに出稿する企業から受け取る求人情報掲載料が売上高となる。同社の主力ウェブサイトは「バイトル」、「バイトル NEXT」、「はたらこねっと」、の3つである。エージェント事業は、看護師専門の求人ウェブサイト「ナースではたらこ」を運営、人材紹介による成功報酬を収益としている。

➤ 2018年2月期第3四半期累計の通期予想に対する営業利益進捗率は高い

- ・2018/2期第3四半期(以下、3Q)累計連結決算は、売上高28,758百万円(前年同期単体比16.4%増)、営業利益8,147百万円(同21.1%増)であった。会社予想に対する進捗率は、売上高75.7%(前年同期74.5%)、営業利益77.6%(同73.8%)であった。給料日を待たずに働いた分の給料を受け取れるサービス提供会社の株式会社BANQを3Q会計期間に子会社化したことにより、BANQの貸借対照表のみを連結した。
- ・メディア事業は、売上高27,069百万円(前年同期単体比19.1%増)、セグメント利益10,185百万円(同14.9%増)であった。主力のウェブサイト別売上高は、「バイトル」23,105百万円(同16.5%増)、「バイトルNEXT」2,537百万円(同60.1%増)、「はたらこねっと」3,953百万円(同37.2%増)であった。「バイトルNEXT」は、正規雇用を目指すというコンセプトによりアルバイトを採用しにくい、あるいはすぐ辞められてしまう事業所・会社の人手不足を開拓したい求人需要及び求職者ニーズの合致で成長している。また、「はたらこねっと」が大きく伸長したのは、派遣会社のみならず一般企業の掲載による契約社数増による。
- ・エージェント事業である看護師紹介サービスの「ナースではたらこ」は、売上高1,688百万円(前年同期比14.8%減)、セグメント利益539万円(同54.7倍)であった。効率性を重視しキャリアアドバイザー要員を減少させることで利益が急増した。
- ・採算性の高いメディア事業の増収等により売上総利益率は前年同期比1.3%ポイント改善の94.3%となった。新卒307名の大量採用、広告宣伝活動の強化、本社移転費用によって販売費及び一般管理費は同16.8%増と増収率をやや上回った。売上総利益率の改善で営業利益率は前年同期比1.1%ポイント改善の28.3%となった。

➤ 2018年2月期業績予想

- ・同社は2018/2期連結業績予想について期初単体の会社計画を据え置いた。ウェブサイト別の業績予想は開示していない。BANQの17/9期業績は売上高3百万円、営業損失24百万円、当期純損失25百万円であり、同社の業績予想に与える影響は軽微と思われる。
- ・求人情報ビジネス以外の新事業部を17年6月1日に設立し、9月時点の同部の人数は約50名となっている。2019/2期中に60~70名体制とし、事業部採算の黒字化を目指んでいる。

➤ アルファ・ワイン調査部の2018年2月期業績予想

- ・アルファ・ワイン調査部(以下、当調査部)の2018/2期連結業績予想は売上高40,000百万円(前期単体比20.6%増、会社計画38,000百万円)、営業利益11,000百万円(同順で20.6%増、10,500百万円)とする従来の単体予想を連結予想とした。同社計画を上回る業績予想を策定した要因は、主に「バイトル」及び「バイトルNEXT」の当調査部予想売上高が会社想定(会社予想は非公表)よりも高いためと推察される。加えて2017/2期第4四半期より「バイトル」の情報掲載料単価が、労働需給環境を反映し強含んでいることも考慮している。
- ・新分野の事業となる「LIMEX」の販売事業(開発及び製造は株式会社TBM)については、同社が国内における

普及推進役として販売に努める模様である。紙製造が木材と多量の水を消費するのに対し、紙代替素材の「LIMEX」は地球上に無尽蔵にある石灰石が主成分であり環境に優しい点に当調査部は注目している。株式会社 TBM は、既に世界 43 カ国で特許取得・申請中であり、日本では同社が販売会社として普及に努める方針である。某飲食チェーン店のメニュー表や名刺として既に採用され、納品価格は従来品と同価格に収まる模様である。売上高目標は開示していない。したがって現時点では、売上高には織り込みず、コストについても同社の広告宣伝費の僅かな抑え込みで賄えると判断した。

・前期比 16.5%増収、18.2%営業増益とする当調査部の 2019/2 期業績予想も据え置いた。今春以降も毎年 300 名～330 名の採用を想定し、採用も順調に進むと思われることから、予想並みの業績は達成可能と判断している。

➤ 株主還元

・ 2018/2 期の 1 株当たり年間配当金は同社予想並みである 43 円と予想する。当調査部は 2019/2 期も増益が続くと予想しており、配当性向 30%を基準に増配が続くと予想する。なお、株主優待のクオカードは継続予定である。

【 2379 ディップ 業種:サービス業】 株価(1/12終値)3,185円、時価総額197,470百万円、会社予想基準PER(今期)25.2倍

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2016/2 通期	26,798	37.2	7,162	49.0	7,170	48.8	4,675	63.7	84.4	183.8	26.0
2017/2 通期	33,178	23.8	9,119	27.3	9,141	27.5	6,167	31.9	111.2	264.8	36.0
2018/2 通期CE	38,000	14.5	10,500	15.1	10,501	14.9	7,023	13.9	126.6	—	43.0
2018/2 通期E	40,000	20.6	11,000	20.6	11,001	20.3	7,350	19.2	132.1	360.7	43.0
2019/2 通期E	46,600	16.5	13,000	18.2	13,001	18.2	8,700	18.4	156.4	425.4	47.0
2017/2 3Q	24,716	25.8	6,729	35.0	6,747	35.1	4,402	40.9	79.4	232.7	16.0
2018/2 3Q	28,758	16.4	8,147	21.1	8,168	21.1	5,694	29.4	102.4	326.8	19.0

(注)CE:会社予想、E:アルファ・ワイン調査部予想、3Qは第3四半期累計、18/2期3Q以降は連結決算、18/2期3Q及び18/2期前期比は単体比

ディスクレーマー

アルファ・ワイン 調査メモ（以下、本メモ）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ワイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

但し本件はその限りではありません。

本メモは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本メモに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本メモの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客觀性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本メモに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本メモに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本メモの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

連絡は、電子メール info@awincap.jp にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。